

脱原発に向けて、勝手連的支持を寄せましょう

私たちは長年環境問題に取り組んで来た者として、脱原発から日本の未来を見つめる滋賀県知事の嘉田さんの行動に共感し、勝手連的な支持を届けたいと思います。

野田政権による無責任解散後、利権と野合に政界がドタバタ劇を演じて居ました。そのことに不信と嫌気が拡がり、今回の国政選挙から脱原発の文明史の重要性が見失われようとしています。永年の政権独占により、利権絡みで国家財政を借金漬けにし、原発を推進してきた自民党にはもうこりごりですが、期待を寄せた民主党にも絶望が拡がっています。そんなときに第3極として、石原・橋下の維新が登場しました。しかし、橋下は原発推進を掲げる石原と合体することで、原発問題から手を引きました。無節操極まりないことです。

原発を政治課題の争点から外し、福島を忘れる流れにいらだちを禁じえなかったまさにその時に、嘉田さんの動きが浮上しました。卒原発、即原発ゼロは、欲惚けの財界や利権徒党の政界には受け入れられないことなのでしょうが、理性と良識に立てば当然のことです。

福島で起こったことから学ばねばなりません。原発とは安全神話に寄りすがらなければ稼働できぬ危険な技術です。後始末のできない放射性毒物を未来の子どもに残すだけの原発は犯罪的です。そして福島原発事故の全貌は今なお闇の中であり、後始末の目途も立っていません。福島の被災者は今も苦難の生活を強いられています。政治は補償・賠償に全力を傾けるべきであり、安全・安心の世に向けて責任を取るべきです。

今般の総選挙は、福島事故後の日本の進路を決めるはじめての国政選挙です。他にも重要案件があるでしょうが、脱原発に特別の重要性があります。脱原発の一点で大同を求めて力を合わせるべきでしょう。

私たちは立候補者の原発に対する姿勢をきびしく見つめたいと思います。そして、利害打算・党利党略に流されがちな政治の現実を正すべく、一人一人が自覚的・自主的に“良識”を支持して、勝手連的に行動を起こすよう呼びかけます。新しい希望の世を未来に残すために。

呼びかけ人

川那部浩哉（元京都大学、元琵琶湖博物館）、槌田劭（元京都精華大学）、中尾ハジメ（京都精華大学）、石田紀郎（元京都大学）、竺文彦（龍谷大学）

賛同者（順不同、2012年11月30日 14時現在）

安藤和雄（京都大学）、伊津信之介（東海大学福岡短大）、江南和幸（元龍谷大学）、大和田幸嗣（元京都薬科大学）、恩地典雄（京都精華大学）、

香川晴男（元京都大学）、香川和子（元京都大学）、加藤真（京都大学）、金川貴博（京都学園大学）、川合真一郎（甲子園大学）、木野茂（立命館大学）、桑原昌宏（元新潟大学）、小林圭二（元京都大学）、斎藤清明（元総合地球環境研究所）、讃岐田訓（元神戸大学）、篠原徹、相神外司郎、末石富太郎（元大阪大学）、鈴木龍也（龍谷大学）、中山一郎（元大阪芸術大学）、三石博行（千里金蘭大学）、宮崎信之（元東京大学）、山田耕作（元京都大学）、吉田富夫（佛教大学）、室岡義勝（元大阪大学）、中川博志（大谷大学）、崎山政毅（立命館大学）、谷川 稔（元京都大学）、山田國廣（京都精華大学）、黒田末寿（滋賀県立大学）、中地重晴（熊本学園大学）、山本義和（元神戸女学院大学）、大津定美（元龍谷大学）、小椋純一（京都精華大学）、中原紘之（元京都大学）、近藤隆二郎（滋賀県立大学）、文珠幹夫（大阪東ティモール協会）、田村有香（京都精華大学）、西村仁志（環境共育事務所カラーズ）、安原 秀（OLA の会）、新谷英治（関西大学）、大里 齊（名古屋工業大学）、西村和雄（元京都大学）、富山一郎（同志社大学）、松久 寛（元京都大学）、伊藤公雄（京都大学）、大澤直哉（京都大学）、村島啓太（農園遊山）、岩田明久（京都大学）、山田協太（京都大学）、荻野芳彦（元大阪府立大学）、竹田晋也（京都大学）、原科 浩（大同大学）、三石瑤子（クリニックサンルイ）

連絡先： 石田紀郎

ishida@beige.plala.or.jp

090-1968-8004